

<ご参考>

THE BOLLORÉ GROUP (ボロレグループ)

1822年設立のボロレ・グループは、世界500位以内の企業規模を誇り、ボロレー族が株式の過半数を所有する上場企業です。世界全体での従業員総数は54,000人を超え、2015年の売上高は108億2,400万ユーロに上ります。技術革新と国際的な事業開発に基づいた多角化戦略により、現在ではグループの3つの事業部門である輸送・物流、広告・通信、畜電ソリューションのそれぞれで強力な地位を確立しています。またこれらの事業活動に加え、50億ユーロ以上におよぶ金融投資の管理にも携わっています。

3部門で事業を展開するグループ企業

1. 輸送と物流

- ▶ 輸送・物流業界最大手グループのひとつ
- ▶ アフリカにおける輸送・物流の主要企業
- ▶ 港湾・鉄道運営のトップ企業
- ▶ フランスおよびヨーロッパの石油関連物流部門において、強力な存在感を示すフランス国内燃料供給の主要企業

2. 広告と通信

- ▶ 世界トップレベルの通信企業
- ▶ フランスで発行部数第2位の無料日刊紙
- ▶ 4G・WIFI事業者

3. 畜電とソリューション

- ▶ LMP電池・スーパーキャパシタ
- ▶ 携帯アプリ
- ▶ 固定アプリ
- ▶ インテリジェンスおよびコンサルティング・サービス

※その他出資

Vivendi
Mediobanca
SOCFIN

BOLLORE TRANSPORT & LOGISTICS (ボロレの物流事業について)

～アフリカへのエンドツーエンド(End to End)に広がる グローバルサプライチェーン～

ボロレ・グループの輸送・物流部門は、貨物輸送から港湾運営、鉄道、石油製品物流まで幅広く事業展開しています。102か国に36,000人の従業員を通じて、ヨーロッパ大陸、アジア大陸、南北アメリカ大陸、そしてボロレが半世紀近くの歴史を持つアフリカ大陸において、圧倒的な存在感を示す世界有数の輸送グループのひとつとして認められています。ボロレは他に比類のない統合物流ネットワークに支えられ、常にアフリカ大陸の経済的、社会的な発展と共に歩んできました。



世界屈指のフォーディング実績

常に変化する顧客ニーズに適切しながら専門性の拡充を続け、アフリカ最大の統合物流ネットワークを誇る一流のサプライチェーン・

パートナーとして、いまや46ヶ国に子会社を持ち、輸送・物流業界の世界上位10企業のひとつに数えられるまでに成長しました。グループでは輸入企業、輸出企業のニーズに対応すべく、大規模なグループ企業には複雑なサプライチェーンマネジメントソリューションを、中小企業には国際輸送サービスを提供しています。グローバルに提供しているサービスは、次の5つのサービス分野におけるボロレの包括的かつ総合的な専門知識に基づいて構築されています。

- 複合一貫輸送
- 関税法及び法規制の順守
- 物流
- グローバル・サプライチェーン
- 工業プロジェクト

どのような事業活動にも、それぞれ独自の物流ニーズがあります。ボロレはそれぞれのニーズに合った専門知識を、各種分野で育んできました。そしてそれを支えているのが、各大陸に存在するボロレのエキスパートのネットワーク(102か国に612の拠点)、専用にかスタマイズされたオペレーション・ツール、明確なプロセスと物流技術です。また、サプライチェーン全体を通してすべてのオペレーションで完全な可視化を提供できる、付加価値のある統合情報システムも、ボロレの能力発揮に一役買っています。



アフリカにおける港湾ターミナル運営のリーダー

港湾はアフリカ経済へのゲートウェイです。アフリカ大陸発展の原動力であり、内陸部の国々に道を開くものでもあります。ボロレは

アフリカ港湾の官民連携における主要企業です。現在アフリカ大陸全体で19の営業権の運営を行っています。港湾ターミナルに関する専門知識を長年にわたって蓄積してきたボロレは、いまや他社にはない経験値があります。港湾当局も、信頼できるプロフェツ

ショナルなパートナーとの長期的な提携を通して確実な支援を受けることができます。国際標準に対応できる高度な官民連携を築き上げることで、利用者側にも最高のサービスを届けられます。

ボロレはコンテナ・ターミナルにおけるインフラ整備も進めています。自らの責任の下、顧客である船主や輸入・輸出業者のために港湾設備に年間3億ユーロを投じ、港湾ターミナルの整備、強化を行っています。



アフリカの未来を担う鉄道網

ボロレは、輸送・物流チェーンのリンクとして機能する、3つの鉄道の営業権を得て鉄道事業を行いアフリカの内陸地域からの輸送を

可能にしています。ボロレ・グループは、コートジボワールとブルキナファソを結ぶSitarail鉄道とカメルーンのCamrail鉄道を運営しています。そして2015年にはベナンとニジェール両政府から、コトヌーとパラクーを結ぶBenirail鉄道の運営にボロレ・グループが指名されました。Benirail鉄道により両国を結ぶ線路が建設され、アビジャン、ワガドゥグー、ニアメ、コトヌー、ロメをつなぐ全長2,700キロメートルを超える西アフリカ環状鉄道の一部となる予定です。



エネルギー事業

ボロレエネルギーは、フランス最大の独立系家庭用燃料配給会社であり、官民の様々なお客様に年間350万m³を供給しています。

また、ボロレエネルギーはドイツおよびスイスに貯蔵容量160万m³の石油製品倉庫を構え、石油物流分野において重要な役割を担っています。アフリカにおいては、炭化水素輸入インフラや、グループ子会社のブルーソリューションズが開発した蓄電ソリューション供給などの新しいプロジェクトを展開しています。